

2009年度文部科学省私立大学戦略的研究基盤形成支援事業

09年度の文部科学省私立大学戦略的研究基盤形成支援事業に選定された社会知性開発センター/社会関係資本研究センター(代表|原田博夫経済学部教授)の研究プロジェクト「可能性と方向性を提示し



▲ パネラーと聴衆がディスカッション

社会関係資本研究センター

第1回シンポジウム開く

「の第1回シンポジウムが12月19日、神田キャンパスで開催された。研究者や学生ら約130人が聴講した。原田代表が「社会関係資本を3分野に分けて調査・研究を進め、東アジア地域の継続的な発展の



▲ 会場から活発な質問も

意義は大きく、活動に期待する」

2009年度補正予算

学校法人専修大学の09年度補正予算は、12月16日開催の理事会・評議員会の議決を経て別表のとおり決定した。

1 資金収支補正予算

〔概要〕 予算規模は、11億1022万円の増(当初予算比3.34%)で343億727万円となっている。

2 消費収支補正予算

〔概要〕 消費収入の部では、帰属収入合計(学費収入)が5億7255万円の増(同2.24%)で261億4823万円。基本金組入額合計が1億1219万円の増(同5.83%)で20億3681万円。消費収入の部合計は、4億6036万円の増(同1.95%)で241億1142万円となっている。

学校法人専修大学 2009年度資金収支補正予算書

2009年4月1日から2010年3月31日まで

(単位:円)

Table with 4 columns: 収入の部 (Income), 支出の部 (Expenditure), 当初予算額 (Original Budget), 補正予算(増○減△) (Corrected Budget), 補正後予算額 (Corrected Budget Total). Rows include various income and expenditure categories like student fees, research grants, and administrative costs.

学校法人専修大学 2009年度消費収支補正予算書

2009年4月1日から2010年3月31日まで

(単位:円)

Table with 4 columns: 消費収入の部 (Consumption Income), 消費支出の部 (Consumption Expenditure), 当初予算額 (Original Budget), 補正予算(増○減△) (Corrected Budget), 補正後予算額 (Corrected Budget Total). Rows include categories like student fees, research expenses, and administrative costs.

備考 1. 消費収入の部「寄付金」には受贈・編入図書およびその他の受贈資産を含む。 2. 消費支出の部「人件費」には退職給与引当金繰入額を含む、「教育研究経費」と「管理経費」には、それぞれ減価償却額を含む。

社会科学研究所 創立60周年記念公開シンポジウム「なぜ『資本論』なのか」

社会科学研究所は、創立60周年記念事業第1弾として開催した檀国大学の合同研究会(本紙第471号既報)に続き、第2弾として「今、なぜ『資本論』なのか」を統一テーマに公開シンポジウムを生田キャンパスで開いた。第1回は11月17日、約130人の参加を得て、晃臣(ともに本学経済学

「シェイクスピア」と「キリシタン」

旅をテーマにした人文科学研究所の第7回公開講座「旅」が12月19日、神田キャンパスで行われた。今テーマにまつ旅。約120人が来場し、2講師による講演を熱心に聴講した。まず本学の末廣幹文学部教授が「シェイクスピア演劇に



人文科学研究所公開講座

続いて東洋大学の中里巧文学部教授が「隠れキリシタンと北欧初期キリスト教」をテーマに講演。「キリシタンたちは江戸から明治時代までの迫害の歴史を『旅』と呼んでいる」と歴史背景とともに解説し、現代に残る石碑、マリア像、隠れキリシタンの墓などを紹介した。

法学部講演会

税務行政の現状について

1月13日、神田キャンパスで法学部講演会「税務行政の現状について」(IT化・国際化と税)が開かれた。これは増田英敏教授の租税法の講義の一環として行われたもの。出席した学生たちは東京国税局の杉尾健・調査第四部長から税務行政の現状、実務について熱心に聴いた。写真。

